

IV 教育・人づくり分野 (生活創造社会の礎)

IV-1 あおもりの未来をつくる人財の育成

IV-1-① 青森を理解し、世界に向かってチャレンジできる人づくり

施策関係課 観光国際戦略局誘客交流課
 教育庁学校教育課
 生涯学習課

◎施策の説明

子どもの頃から、身近な大人や地域との関わり、異文化交流などを通して、ふるさとへの理解や愛着を深め、将来、青森から世界に向かってチャレンジできる人財の育成に、学校・家庭・地域が連携して取り組む。

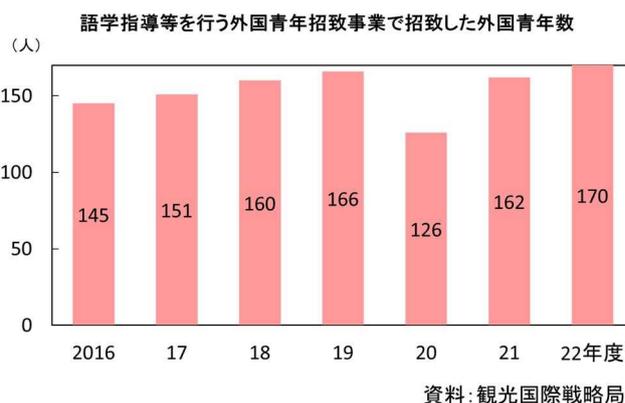
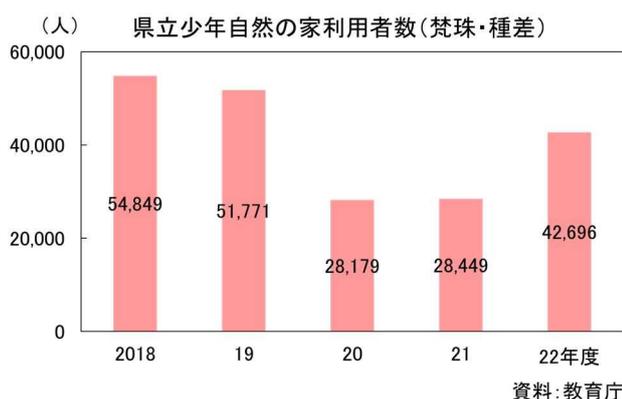
◎令和4年度の実施状況と成果

小・中学校でのエネルギー教育支援、県立学校における地域の魅力を知り、地域との連携により活性化を目指す取組、少年自然の家などにおける自然体験プログラムの提供など、地域資源を活用した体験型学習・課題解決型学習の充実に取り組むことにより、本県の歴史・文化、自然や産業の持つ魅力への理解促進及び児童生徒の夢の実現に向かう姿勢の向上が図られた。

県立高等学校において、台湾の高級中学等とのオンラインによる協働学習の実施や済州国際青少年フォーラムへのオンライン参加などにより、高校生の国際交流などへの意識の向上が図られた。

学校法人によるJETプログラムを活用した外国語指導助手の招致に対する補助制度により、国際交流を推進し、語学・コミュニケーション能力の向上が図られた。

◎関連する指標の動向等



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位:千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
外国青年招致事業 (観光国際戦略局誘客交流課)	語学指導等を行うために招致した外国青年数 170人	2,328

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
済州・台湾友好交流推進事業 (観光国際戦略局誘客交流課)	子どもの美術交流参加児童数 (オンライン開催) 20人 台中市とのオンライン座談会回数 1回	5,694
青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人材育成事業 (教育庁学校教育課)	国内IB認定校視察実施校数 1校 講師を招いた教員研修回数 3回 オンラインによる台湾の高級中学との協働学習実施校数及び参加人数 9校、延べ1,341人	3,206
青商ビジネスチャレンジwith台湾事業 (教育庁学校教育課)	台湾企業との商談等研修会参加生徒数 24人	4,534
ドリカム人づくり推進事業 (教育庁学校教育課)	推進校数 単独校型プラン 16校 連携校型プラン 4校	6,821
エネルギーに関する教育支援事業費補助 (教育庁学校教育課)	県立学校：百石高等学校及びむつ工業高等学校 補助対象市町村：平川市ほか4町	3,775
青少年教育施設主催事業 (教育庁生涯学習課)	自然体験活動実施回数及び参加者数 233回、16,210人	3,432

IV-1-② 「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」の育成

施策関係課 環境生活部青少年・男女共同参画課
教育庁学校教育課
教職員課
生涯学習課
スポーツ健康課

◎施策の説明

確かな学力の向上に取り組むほか、主権者教育や情報教育などにより、新しい時代に求められる資質・能力の育成に取り組む。また、人権を尊重し、他者を思いやる心を育成するとともに、将来にわたって健康に暮らすための知識の習得や意識の醸成、生活習慣の定着に取り組む。

◎令和4年度の実施状況と成果

進学力パワーアッププログラムの実施等により高校生の学力及び教員の指導力アップに向けた各学校の取組を支援したほか、医師を志す高校生の実力を養成するため、外部講師による学習セミナーや教員の教科指導力向上プログラムを実施した結果、県内高等学校から70人が医学部医学科に合格した。

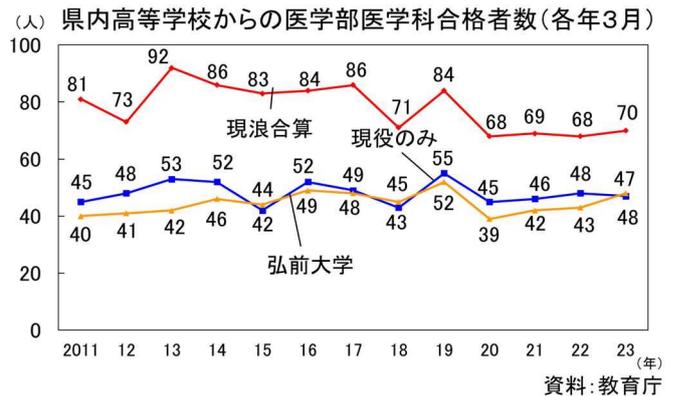
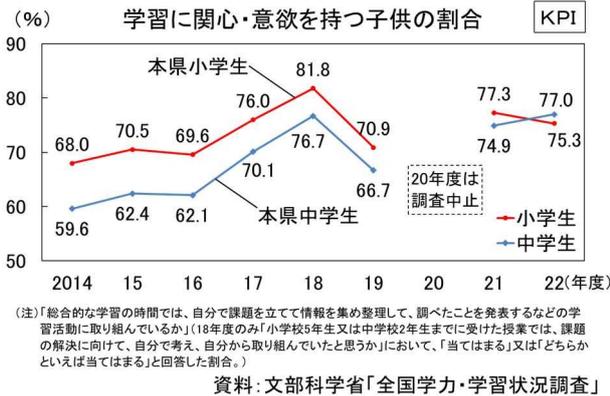
学習に意欲をもつ子どもの増加を図るため、小・中学生の主体的に学ぶ力の育成に向けた手引きの配布を行うとともに、小学校教員の英語力・指導力向上を支援するため、英語専科教員等の育成や学校訪問を実施した。また、授業等での学校図書館の積極的な活用に向け、「学校図書館サポーター」を高等学校10校に配置した。

いじめなどの問題の未然防止、早期対応を図るため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、24時間電話相談員の配置、教員向けの研修、いじめ防止標語コンクールなど、いじめ防止の環境づくりや意識啓発に取り組んだ。

登校時間に朝のあいさつを行う、県内一斉声かけ活動の実施や命を大切にすることを育む県民運動推進フォーラムの開催等を通して、命を大切にすることを育む県民運動を推進した。

子どもの運動習慣の確立に向けた教員向けの研修、小学校低学年用運動プログラム及び運動チャレンジカードの普及・宣伝などにより、小学校低学年における運動習慣の定着に取り組んだ。

◎関連する指標の動向等



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位: 千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
地域の見守りで輝く笑顔推進事業 (環境生活部青少年・男女共同参画課)	県内一斉声かけ活動実施校数 502校 対話集会実施校数 12校 相談先掲載ステッカー作成・配布枚数 35,000枚	1,454
命を大切にすることを育む県民運動推進会議・フォーラム開催事業 (環境生活部青少年・男女共同参画課)	県民運動推進フォーラム参加者数及び動画視聴者数 参加者数115人、視聴者数320人 情報啓発誌作成・配布部数 9,000部	1,936
命を大切にすることを育む絆プロジェクト事業 (環境生活部青少年・男女共同参画課)	命を大切にすることを育む絆づくり応援事業(モデル事業)委託団体数 2団体 笑顔の未来へメッセージ作品応募点数 メッセージ部門 2,161点 (小学生534点、中学生606点、高校生1,021点) 図画部門(小学生のみ) 146点	3,879
小・中学校外国語教育充実支援事業 (教育庁学校教育課)	小学校外国語活動・外国語担当教員・英語専科指導教員研究協議会開催地区数及び参加者数 6地区、212人 中学校英語教育推進教師育成研修会参加者数 20人 小・中学校外国語教育充実支援訪問回数 16回	1,355

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
学校図書館活用推進事業 (教育庁学校教育課)	学校図書館担当者研究協議会参加者数 22人 学校図書館シンポジウム参加者数 29人	167
語学指導を行う外国青年招致事業 (教育庁学校教育課)	外国語指導助手配置人数(外国青年招致事業の内数) 29人	10,594
進学力を高める高校支援事業 (教育庁学校教育課)	進学力パワーアッププログラム指定校数 22校	5,053
医師を志す高校生支援事業 (教育庁学校教育課)	参加校数 18校 セミナー参加生徒数 延べ948人	14,826
いじめ防止対策等推進関連事業 (教育庁学校教育課)		154,875
学校の教育相談体制充実を支援する外部専門家活用事業	スクールカウンセラー配置校数 小学校253校、中学校143校 スクールソーシャルワーカー対応校区数(中学校区単位)及び配置人数 104区、32人	139,515
ソーシャルメディア等監視員配置事業	配置人数 1人	2,847
24時間いじめ等電話相談事業	相談件数 885件	9,623
いじめ防止対策事業	いじめ防止専門員配置校数 73校	555
安心できる学校づくり推進事業	いじめ問題対策等をテーマとした連絡協議会等開催回数 2回	1,168
居場所づくり・絆づくり推進事業	居場所づくり・絆づくり調査研究指定校数 8校 居場所づくり・絆づくり連絡協議会開催回数 2回 不登校児童生徒支援連絡協議会開催回数 1回 不登校支援コーディネーター配置人数 1人	1,167
学校図書館活動支援事業 (教育庁教職員課)	学校図書館サポーター配置校数 10校 (うち兼務校4校)	6,140
いじめ防止キャンペーン推進事業 (教育庁生涯学習課)	いじめ防止標語コンクール応募作品数 9,197作品 CM放映回数 78回	7,013
いきいき青森っ子健康づくり事業 (教育庁スポーツ健康課)	健康教育実践支援事業指定校数 11校 性に関する講演会実施校数及び受講者数 59校、9,361人 性に関する指導者研修会参加者数 31人	2,347
楽しさアップ!子どもの健康づくり事業 (教育庁スポーツ健康課)	体育の楽しさアップ研修会参加者数 249人	1,424

IV-1-③ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

施策関係課 教育庁学校教育課

◎施策の説明

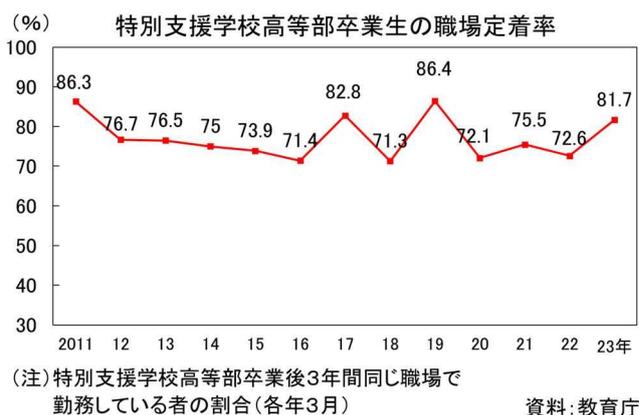
障害のある児童生徒の自立や社会参加を促進するため、個に応じた適切かつ専門性の高い指導・支援に取り組む。

◎令和4年度の実施状況と成果

地域における特別な教育的ニーズのある子どもへの教育相談体制を充実させるため、研修会の開催により関係機関との連携を強化するとともに、特別支援教育に係る研修を実施し教員の専門性向上を図った。

特別支援学校高等部卒業後の社会的・職業的自立、産業現場等における実習の受入れ及び雇用の拡大に向けて、地域の企業等との連携・協働による青森県版「特別支援学校技能検定」について、オンラインによる実施も取り入れて開催したほか、県教育庁障害者就労促進センターにおいて、特別支援学校卒業生等に就労機会を提供するとともに職業スキルの育成を図り、企業就労への移行を支援した。

◎関連する指標の動向等



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位:千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
特別支援学校技能検定事業 (教育庁学校教育課)	技能等に関する評価指標・マニュアルを活用した取組実施校数 15校	2,768
特別支援学校生徒の夢や志を支援する就労促進事業 (教育庁学校教育課)	県教育庁障害者就労促進センター採用者数 10人 うち一般企業等への就職者数 6人	21,764
地域における特別支援教育相談体制強化事業 (教育庁学校教育課)	教育相談ガイドブックの活用に関する研修会開催地区数及び参加者数 6地区、延べ484人 県立特別支援学校における専門性向上研修会開催回数 延べ20回	1,175

IV-1-④ 子どもが安心して学び、多様な能力を伸ばす教育環境の整備

施策関係課 総務部総務学事課
 教育庁学校教育課
 教職員課
 学校施設課
 高等学校教育改革推進室

◎施策の説明

安全・安心な教育環境の確保や、教員の実践的な指導力の向上、ICTの効果的活用など、時代や社会環境の変化に対応した、質の高い教育を受けられる持続可能な環境づくりに取り組む。

◎令和4年度の実施状況と成果

県立学校施設の老朽化解消のため、校舎等の長寿命化改修及び改築を行った。

特別支援学校における教室不足解消のため、増築等基本計画を策定した。

私立学校の経常的経費等に対する補助、私立高等学校等就学支援金の支給などを行い、私立学校の教育条件の維持向上と生徒などの経済的負担の軽減を図った。

県立学校における教育環境の充実を図るため、産業教育、理科教育及び特別支援教育設備の整備を行った。

青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画の推進に向け、地域校の活性化に係る取組や全国からの生徒募集に係る取組を行った。

新任教員に対する初任者研修、中堅教諭等資質向上研修を実施し、教職員の資質能力の向上を図った。

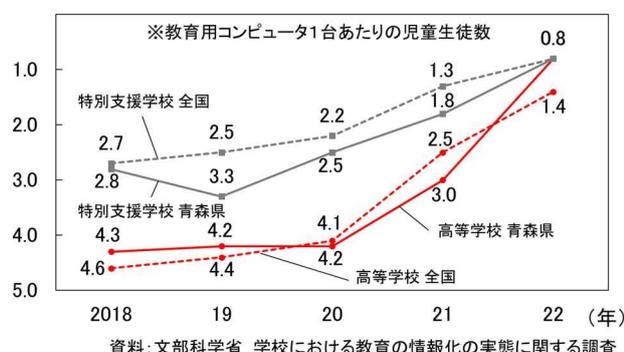
個に応じたきめ細かな学習指導や生活指導を行うため、本県独自の少人数学級編制（小学校1年生～6年生及び中学校1年生を対象とした1学級33人編制）を実施した。

心身障害児の幼稚園等への就園を促し、障害に応じた適切な教育を早期に実施するため、学校法人が行う心身障害児教育を支援した。

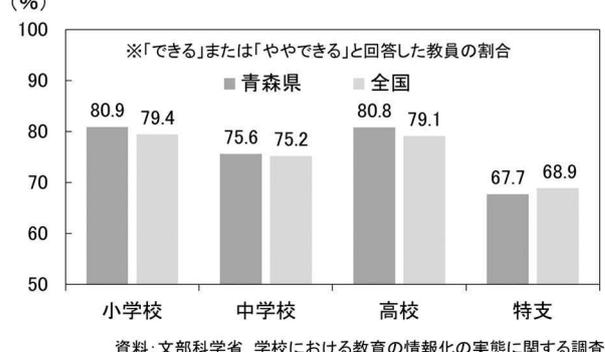
地区研修会やリーダー研修会を開催し、教員のICT活用指導力の向上に取り組むとともに、ICT活用応援サイトの構築並びに地区協議会及び実践発表会の開催により、公立小・中学校及び県立学校におけるICT活用に係る取組状況、活用事例及び課題等の蓄積・共有を図った。

◎関連する指標の動向等

(人/台) 県立学校のコンピュータ整備状況(各年3月)



(%) 児童生徒のICT活用を指導する能力(2022年3月)



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
私立幼稚園等特別支援教育費補助 (総務部総務学事課)	補助対象幼稚園等設置者：35法人	134,099
私立学校経常費補助 (総務部総務学事課)	補助対象学校設置者：27法人	3,158,107
私立高等学校等就学支援金交付金 (総務部総務学事課)	交付対象学校設置者：16法人	2,255,117
私立高等学校等就学支援費補助 (総務部総務学事課)	補助対象学校設置者：14法人	127,301
奨学のための給付金事業 (総務部総務学事課) (教育庁学校施設課)	給付者数 私立高等学校 1,640人 国公立高等学校等 3,115人	560,021
初任者研修 (教育庁学校教育課)	受講者数 142人 (小学校50人、中学校31人、高等学校25人、特別支援学校36人)	9,700
教職員研修 (教育庁学校教育課)	受講者数 301人 (小学校77人、中学校45人、高等学校122人、特別支援学校57人)	1,779
小・中学校における教員のICT活用指導力向上事業 (教育庁学校教育課)	ICT活用指導力向上地区研修会参加者数 342人 校内研修等派遣研修実施回数及び参加者数 3回、54人	1,935
高等学校におけるICTを活用した確かな学力向上事業 (教育庁学校教育課)	ICT活用教育推進リーダー研修会参加者数 52人 ICT活用指導力向上研修会(オンライン)参加者数 2,111人 ICT活用教育研究協議会参加者数 52人	4,089
特別支援学校におけるICTを活用した確かな学力向上事業 (教育庁学校教育課)	ICT活用教育推進リーダー研修会参加者数 80人 授業実践教員研修会参加者数 40人 授業におけるICTの活用に向けた研修会(オンライン)参加者数 895人	2,708
あおもりっ子育みプラン21実施事業 (教育庁教職員課)	配置人数 教諭・臨時講師 小学校75人、中学校35人 非常勤講師 小学校80人	839,646
外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業 (教育庁教職員課)	配置人数 小学校20人、中学校7人、高等学校22人、特別支援学校20人	111,339
学校等における法務相談体制整備事業 (教育庁教職員課)	定期相談会開催回数 8回 学校への派遣回数 18回 教職員を対象とした研修会開催回数 12回 いじめ防止教室開催回数 17回	773

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
県立学校施設の整備充実 (教育庁学校施設課)		5,061,869
大規模改修	八戸水産高等学校等34校	1,393,459
校舎等建築調査設計	木造高等学校等8校	88,256
校舎等建築	三沢高等学校等4校	2,744,461
長寿命化・重点改良	弘前実業高等学校等4校	835,693
県立学校設備の整備充実 (教育庁学校施設課)		735,624
理科教育等設備整備	青森高等学校等32校	8,633
産業教育設備整備	特別装置：五所川原工業高等学校等10校 情報処理教育設備：三沢商業高等学校等3校 産業教育設備リニューアル等 ：五所川原農林高等学校等13校	452,030
教育用コンピュータ整備	青森高等学校等72校	274,961
教材・設備整備事業 (教育庁学校施設課)	県立盲学校等20校	28,296
実習船建造費 (教育庁学校施設課)	八戸水産高等学校	1,553,779
県立高等学校教育改革推進事業 (教育庁高等学校教育改革推進室)	地域校活性化協議会の開催校数及び開催回数 4校、7回 全国からの生徒募集に係る取組 4校	11,624

IV-1-⑤ 「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進

施策関係課 企画政策部地域活力振興課
商工労働部新産業創造課
教育庁学校教育課
生涯学習課

◎施策の説明

小・中・高等学校から大学等そして就職までのつながりや将来の生き方を意識したキャリア教育を社会全体で推進し、社会的・職業的自立のために必要な能力・態度を育成する。地域や大学・企業等と連携し、子どもや若者の地域に対する貢献意欲の向上や創造力の育成を図るなど、県内定着促進も意識したキャリア形成支援に取り組む。

◎令和4年度の実施状況と成果

高校生が社会人・職業人として自立し、職場で活躍できる実力（仕事力）を養成するためのインターンシップやビジネスマナー講習会等を実施した。

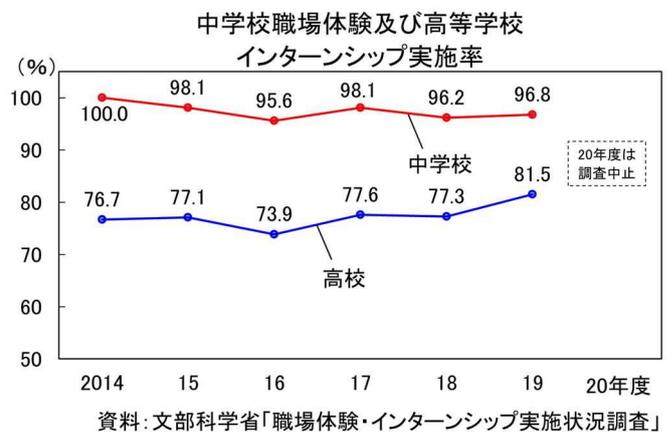
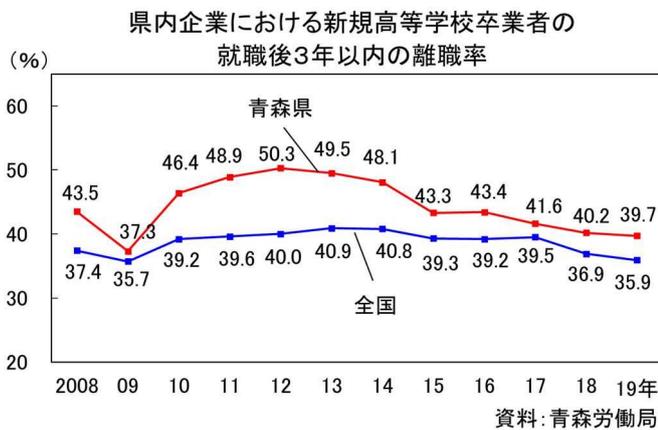
県立高等学校において、企業や大学、関係機関等と連携を図り、地域人財や資源を活用した探究型学習等に取り組むとともに、地域産業を支える人財の育成を図った。また、県立高等学校12校に就職支援員を配置し、生徒との進路相談や県内求人開拓等を行った。

先輩社会人を講師とする県内高等学校での講話や中学生の創造力を磨くサマースクール等を開催した。

子どもの創造性を育成する地域団体に対し活動経費の一部を補助するとともに、発明くふう展や「科学の夢」絵画展、ものづくり・科学体験事業を開催した。

青少年が自己肯定感を高め、主体的に行動できるようにするため、異年齢交流や学校外学修のためのプログラムを提供するとともに、中学生及び高校生が自らの夢に向かって主体的に行動できるよう、チャレンジする心を育むためのワークショップを実施した。

◎関連する指標の動向等



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
「夢のカタチ」形成事業 (企画政策部地域活力振興課)	「未来ひらめき創造塾」参加中学生数 38人 「先輩から後輩への夢相伝講座」参加高校生数 1,551人 「日本の次世代リーダー養成塾」参加高校生数 11人	3,745
未来を築く創造性豊かな産業人財育成事業 (商工労働部新産業創造課)	創造性育成活動促進事業費補助対象団体 11団体 発明くふう展・科学の夢絵画展来場者数 7,946人 科学の夢絵画展移動展開催箇所数 2箇所 ものづくり・科学体験事業参加者数 90人	4,794
仕事力養成推進事業 (教育庁学校教育課)	各学校の系統的な取組支援校数 延べ18校 インターンシップ体験生徒数 1,004人 長期企業等派遣者数 1人	2,018

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
高校生の就職総合支援プロジェクト事業 (教育庁学校教育課)	キャリア形成講座・研修会参加者数 延べ1,908人 介護員養成講習会参加者数 45人 先進技能習得派遣研修参加者数 9人	13,745
産業教育の推進・人財育成事業 (教育庁学校教育課)	企業との連携による県内企業魅力体験校数 34校 全国産業教育フェア青森大会参加者数 約10万2千人	30,300
持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業 (教育庁学校教育課)	「あおもり創造学」実施校数 26校 就職支援員配置校 12校	47,904
青森で生きる未来人財育成事業 (教育庁生涯学習課)	ボランティアチーム養成講座参加者数 延べ493人	572
大学生とカタル！キャリア形成サポート事業 (教育庁生涯学習課)	実施校数 18校 参加生徒数 2,043人 参加大学生数 延べ723人	660

IV-1-⑥ 学校・家庭・地域が連携し社会全体で子どもを育む仕組みづくり

施策関係課 環境生活部青少年・男女共同参画課
教育庁学校教育課
教職員課
生涯学習課

◎施策の説明

学校・家庭・地域の連携を強化し、社会全体で子どもを育む仕組みづくりを推進する。

◎令和4年度の実施状況と成果

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えられるよう、市町村による地域学校協働本部の設置を促進するため、地域の実情に応じた多様な形態の本部構築モデル事業を実施するとともに、地域学校協働活動に対する理解を深めるための研修会を開催した。

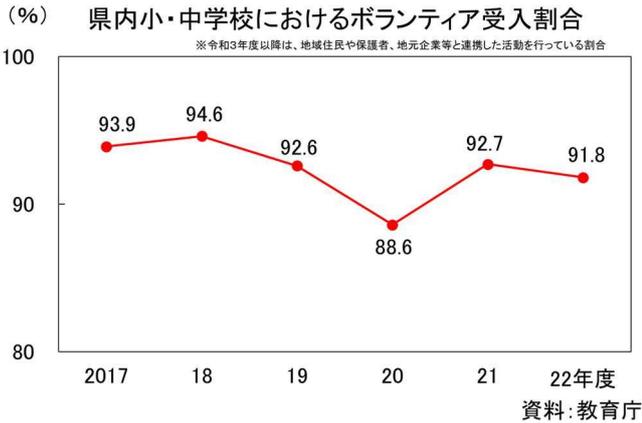
家庭の教育力向上を図るため、家庭教育支援者向けの研修会や読み聞かせの大切さを伝える親子ふれあい読書アドバイザーの養成を行ったほか、地域全体で家庭教育を支援する意識や必要性についての普及・啓発を行うため、家庭教育応援フェスタを開催した。

困難を有する子ども・若者の自立に向けて、より住民に近い地域の関係機関等が連携し、切れ目なく支援が行われるよう、地域ネットワーク会議や合同相談会を開催した。

家庭・地域・学校が連携して、子どもが読書に親しむ機会・環境の充実と普及啓発を進めることを目的に県内の中学生・高校生を対象に友達に薦めたい本の紹介文の募集やイベントを開催した。

地域に開かれた学校の推進と教育活動の充実に向けて、県立学校8校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール導入による効果や課題の整理を行った。

◎関連する指標の動向等



放課後子ども教室の開設数

2018	22市町村 88教室
19	23市町村 86教室
20	17市町村 66教室
21	17市町村 65教室
22年度	16市町村 62教室

※青森市及び八戸市除く

資料: 教育庁

地域学校協働本部の整備率 (%)

	2019	20	21	22年度
全国	50.5	60.3	65.1	69.2
青森県	40.3	42.4	49.3	55.2

資料: 教育庁

◎令和4年度の主要事業の実績

(単位: 千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
子ども・若者を地域で支える体制強化事業 SNSによる子ども・若者相談先緊急周知事業 (環境生活部青少年・男女共同参画課)	地域ネットワーク会議開催地区数及び開催回数 3地区、12回 合同相談会の開催地区数及び開催回数 3地区、3回 当事者向け広報の実施 プロモーションツイート表示回数 71,220,258回 プロモーションツイートクリック回数 60,786回	8,897
特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業 (教育庁学校教育課)	コミュニティ・スクール連絡協議会開催回数 2回 学校運営協議会設置学校数 7校	715
高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業 (教育庁教職員課)	学校運営協議会設置学校数 1校	58
地域学校協働活動推進事業 (教育庁生涯学習課)	地域学校協働活動推進のための研修参加者数 52人 放課後子ども総合プラン指導員等研修会参加者数 延べ803人	1,862
学校を核とした地域づくり推進事業 (教育庁生涯学習課)	地域との連携を担う教職員研修参加者数 337人	1,957
あおもり家庭教育支援総合事業 (教育庁生涯学習課)	親子ふれあい読書アドバイザー研修参加者数 307人 家庭教育応援フェスタ参加者数 112人 青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会参加者数 49人	2,494
子どもの読書活動推進事業 (教育庁生涯学習課)	あおもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」応募点数 4,080点 子どもの読書活動推進大会参加者数 200人	2,522

IV-2 あおもりの今をつくる人財の育成

IV-2-① 活力ある持続可能な地域づくりのための人づくり

施策関係課 企画政策部地域活力振興課
教育庁生涯学習課

◎施策の説明

地域の活力が将来にわたって持続するよう、「生業」づくりや地域づくりに取り組むリーダーの育成を行うとともに、次の世代を担う人財の育成に向けた仕組みづくりに取り組む。

国内外の人財の交流などによる地域の活性化や、多様な働き方を可能とする環境づくりに取り組む。

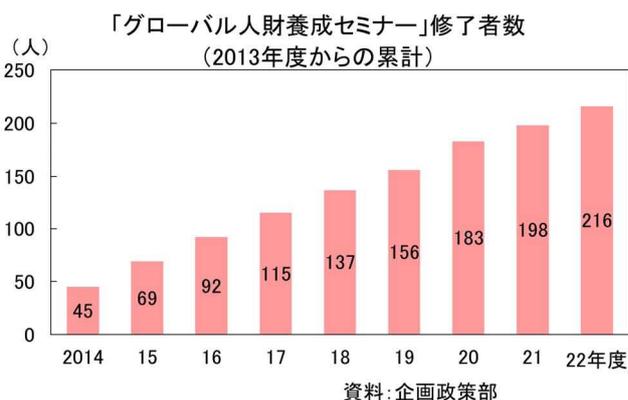
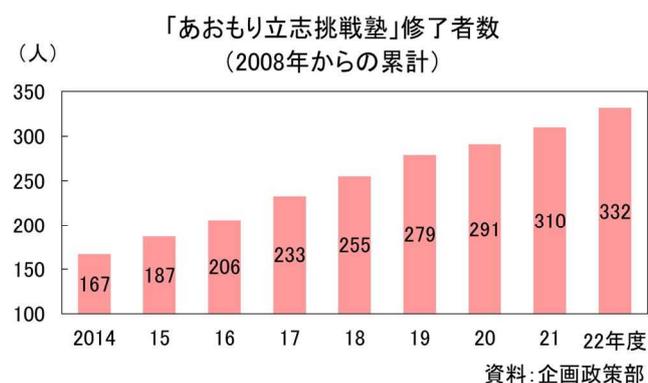
◎令和4年度の実施状況と成果

「あおり立志挑戦塾」や「あおりグローバルアカデミー2022」などによる、本県経済や地域づくりをけん引するリーダーやグローバルな視点を持ちながらローカルに活躍する人財等の育成、さらには、これら人財のネットワーク形成や地域において持続的に人財が育成される仕組みづくりに取り組んだ。

教育事務所と市町村の社会教育主事等が連携し、地域課題の解決に向けた事業の企画・実践による社会教育主事の資質向上を図ったほか、地域の活性化につながる人財の発掘・育成、ネットワーク形成等に取り組んだ。

県内各地の若者が地域活動者の手法等を学び、地域活動の企画・実践を行うことで、若者の自己有用感、地域愛を育み、若者の県内定着を促進する仕組みの構築を図った。

◎関連する指標の動向等



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
地域経済をけん引する次世代 トップリーダー育成事業 (企画政策部地域活力振興課)	「あおもり立志経営塾」修了者数 19人	4,735
地域創発人財育成事業 (企画政策部地域活力振興課)	「あおもり立志挑戦塾」修了者数 22人	3,467
グローバル人財活躍・ネット ワーク推進事業 (企画政策部地域活力振興課)	「グローバル人財養成セミナー2022」修了者数 18人	2,267
人生100年時代を生きるライフ シフト人財育成事業 (企画政策部地域活力振興課)	「ライフシフトフォーラム」参加者数 65人	3,264
パワフルAOMORI！創造 塾 (教育庁生涯学習課)	講座開催回数及び受講者数 6回、21人	854
社会教育を核とする地域ネッ トワーク活用促進事業 (教育庁生涯学習課)	地域課題の解決に向けた企画・実践の実施回数及び参 加者数(中南地区、三八地区) 17回、延べ224人	1,581
「地域の思いをつなぐ」若者 育成事業 (教育庁生涯学習課)	若者と地域活動者による地域活動の企画・実践団体数 12団体	3,257

IV-2-② 移住の促進など多様な人財との交流の推進

施策関係課 企画政策部地域活力振興課

◎施策の説明

将来的な地域の担い手を増やすため、移住の促進や関係人口の拡大に取り組む。

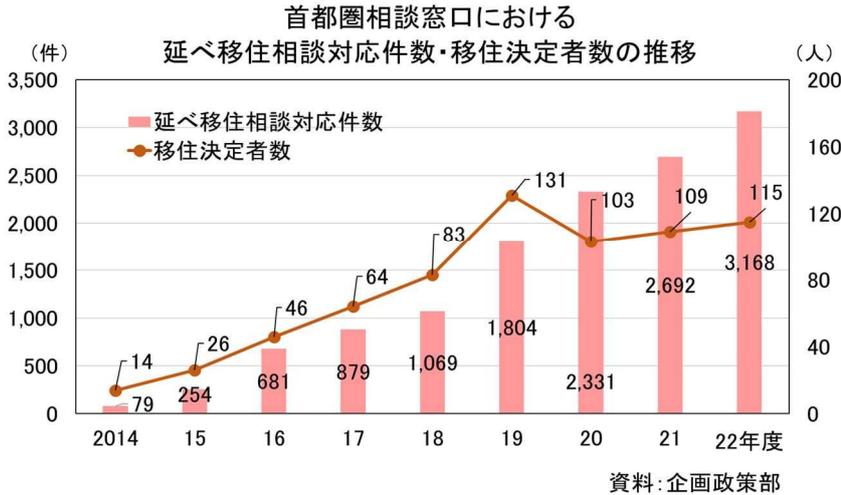
移住希望者や訪日・在日外国人など多様な人財との交流を通じた人財とのネットワークを構築し、地域の担い手となる人財のスキルの向上や地域活性化に取り組む。

◎令和4年度の実施状況と成果

首都圏等からの移住を促進するため、相談体制の整備や各種媒体を活用した情報発信、移住相談イベント等の開催に取り組み、首都圏相談窓口における延べ移住相談対応件数は年々増加傾向にある。

都市部に拠点を置いたまま、地域と継続的に関わる「関係人口」の創出・拡大に向け、県外在住者を対象とした参加型プログラムや住民向け研修の実施、地域と関係人口の繋ぎ役となるコーディネーターの育成を行った。

◎関連する指標の動向等



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
「今こそあおもりで暮らそう」 推進事業 (企画政策部地域活力振興課)	首都圏相談窓口等を利用した移住決定者数 (把握分) 115人	43,634
共感と熱意でつながる関係人口 増加プロジェクト事業 (企画政策部地域活力振興課)	関係人口参加型プログラム数 3件	7,676

IV-2-③ あらゆる分野における女性の活躍推進

施策関係課 企画政策部地域活力振興課
環境生活部青少年・男女共同参画課

◎施策の説明

女性の活躍を推進するため、女性が学ぶ場を創出し、ネットワーク化やキャリア形成を促進する。
また、ワーク・ライフ・バランスの推進や家庭における男性の家事・育児への参画促進により、あらゆる分野で女性が多様な生き方、働き方を選択できる環境づくりに取り組む。

◎令和4年度の実施状況と成果

リーダーとして活躍する女性人財の育成とネットワークの拡大を図るため、「奥入瀬サミット」の開催支援を行った。

中小企業者を対象とした女性活躍推進オンライン研修会の実施のほか、「あおもり女性活躍推進協議会」を開催した。

多様な家事への気付きと夫婦で話し合う機会の創出のために作成したポスターの配付やSNS広告の配信により、男性の家事参画促進に係る啓発活動を行った。

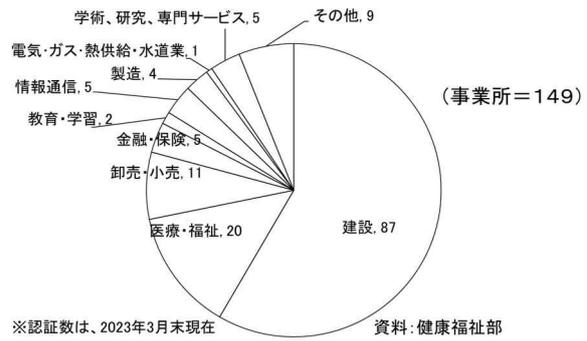
◎関連する指標の動向等

6歳未満の子どものいる夫・妻の
1日当たり家事・育児時間

(2021年)				
区分		家事時間	育児時間	合計
青森県	夫	24分	1時間5分	1時間29分
	妻	2時間52分	2時間46分	5時間38分
全国	夫	30分	1時間5分	1時間35分
	妻	2時間58分	3時間54分	6時間52分

資料：総務省「社会生活基本調査」

「あおもり働き方改革推進企業」認証数（業種別）



◎令和4年度の主要事業の実績

（単位：千円）

事業名 （担当課）	事業実績	事業費
「奥入瀬サミット」女性人財ネットワーク拡大事業 （企画政策部地域活力振興課）	「奥入瀬サミット2022」参加者数 49人 奥入瀬サミットプレセミナー参加者数 39人	4,244
働く女性の活躍推進支援強化事業 （環境生活部青少年・男女共同参画課）	オンライン研修会開催回数及び参加者数 1回、64社・89人 あおもり女性活躍推進協議会及び幹事会開催 各1回 SNS広告用動画制作数 1本 啓発ポスター作成数 1,600部	3,650

IV-2-④ 生涯を通じた学びと社会参加活動の拡大

施策関係課 環境生活部県民生活文化課
教育庁生涯学習課

◎施策の説明

県民の生涯を通じた学びの機会の提供や、その学習成果を生かした地域活動への参加推進、高齢者の活躍促進に取り組む。

◎令和4年度の実施状況と成果

県立図書館において、県民の生涯学習に必要な資料を整備し、充実した図書館サービスを提供するとともに、県総合社会教育センターにおいて、県民がいつでもどこでも手軽に学べるインターネットを通じた学習コンテンツを拡充することで、県民の学習機会の充実を図った。

仕事で培った経験やスキルを活かした社会貢献活動（プロボノ活動）を地域レベルにまで浸透させるため、個人・団体を対象としたセミナーの開催や、市町村連携型プロボノチャレンジの実施のほか、プロボノ人財とNPO等をウェブ上でつなぐプラットフォームの活用を推進した。

県民の生涯学習の推進と開かれた学校づくり促進のため、特別支援学校が有する専門性の高い教育機能を生かした公開講座を実施した。

◎関連する指標の動向等

県内の認証NPO法人数等

(単位:法人・団体)

区 分	2016	17	18	19	20	21	22年度
認証NPO法人数 (年度末実数)	405	414	414	421	410	406	411
認定NPO法人数 (年度末実数)	3	3	4	4	4	4	4
特例認定NPO法人数 (年度末実数)	—	—	—	—	1	1	1
条例個別指定NPO法人数 (年度末実数)	1	1	1	1	1	1	1

資料:環境生活部



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位:千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
地域共生社会を支えるプロボノ活動促進事業 (環境生活部県民生活文化課)	あおもりプロボノセミナー参加者数 24人 青森プロボノチャレンジ参加者数及び支援を受けた団体数 22人、5団体 市町村・社会福祉協議会・NPO活動団体向けプロボノセミナー参加者数 22人	2,854
元気青森人を創造するeラーニング推進事業 (教育庁生涯学習課)	インターネットによる学習教材配信数及びアクセス数 147本、20,289件	967
県立図書館資料整備事業 (教育庁生涯学習課)	県立図書館・青森県近代文学館受入資料数 25,809点	62,717
特別支援学校を活用した生涯学習講座開設事業 (教育庁生涯学習課)	公開講座受講者数 延べ107人	366

IV-3 あおもりの活力をつくる文化・スポーツの振興

IV-3-① 歴史・文化の継承と活用

施策関係課 教育庁文化財保護課
三内丸山遺跡センター

◎施策の説明

縄文遺跡群の世界文化遺産登録をめざす取組を推進するとともに、一体的な保全と活用に取り組む。郷土の歴史、民俗、産業、自然等に関する資料や文化財などの適切な保存と活用を促進するとともに、伝統文化の鑑賞・体験機会の充実に取り組む。

◎令和4年度の実施状況と成果

令和3年7月に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の登録1周年記念事業を開催したほか、遺跡周遊スタンプラリーの実施、出前講座の開催、4道県共同フォーラムの開催など様々なプロモーションを展開し、登録効果を生かした認知度向上等に取り組んだ。また、登録効果を最大限獲得するため、ガイド力の向上を図ったほか、関係者会議の開催や遺跡の保存・活用団体と連携した人づくり実証事業に取り組み、受入態勢を充実させた。

三内丸山遺跡センターにおいて、「北海道・北東北の縄文遺跡群」から出土した重要文化財などを展示した特別展等の開催や、三内丸山遺跡ガイドブック（概要版）及びデジタルアーカイブサイトの多言語化のほか、遺跡の新たな魅力発信のため、夜の遺跡見学や遺跡内でスノーアクティビティ等のイベントを実施し、遺跡の効果的な公開・活用に取り組んだ。

国・県指定の文化財建造物の保存修理等を行う所有者等に助成を行い、文化財の適切な保存・活用が図られたほか、縄文遺跡群をはじめとする地域の文化財について、地域の大人の参画を得ながら学習・体験できる機会を創出し、子どもたちの縄文遺跡や地域の文化財に対する興味関心の向上を図った。

世界文化遺産の構成資産以外も含めた地元の縄文遺物の価値や魅力を伝えるため、講演会、出土品展示会及び体験学習会を一体とした「地元の縄文」再発見フェアの開催や「あおもり縄文カード」の配布等を行った。

◎関連する指標の動向等



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業 (教育庁文化財保護課)	地域の文化財に関する講座等参加者数 215人 総合的な学習の時間等を活用した学習・体験活動等参加者数 94人	1,318
文化財修理費補助 (教育庁文化財保護課)	補助対象建造物等：誓願寺	776
「地元の縄文」再発見プロジェクト事業 (教育庁文化財保護課)	「地元の縄文」再発見フェア参加者数 延べ790人 (下北395人、中南395人) 「あおもり縄文カード」配布施設数及び作成数 90施設、50,000枚(100種×500枚) 「あおもり縄文遺物セット」製作数 60セット	8,759
三内丸山遺跡関連事業 (教育庁三内丸山遺跡センター)		46,300
特別展開催事業	特別展開催回数 2回 特別展図録作成部数 1,900冊 特別展来館者数 34,822人	15,900
「選ばれる三内丸山遺跡」魅力発信推進事業	三内丸山遺跡ガイドブック(概要版)刊行数 4,000冊 (多言語化：英語、韓国語、簡字体、繁体字) デジタルアーカイブサイトの多言語化 「夜の遺跡を楽しもう」イベント参加者数 2,231人 「スノーアクティビティ」イベント参加者数 61人	25,265
三内丸山遺跡出土品再整理事業	文化庁による個別照合及び出土品の再整理	5,135
「北海道・北東北の縄文遺跡群」保存・活用推進事業 (教育庁三内丸山遺跡センター)	世界遺産登録記念誌の作成 4道県共同フォーラム(青森、東京、福岡)の参加者数 延べ750人	37,887
「青森の縄文遺跡群」保存・活用推進事業 (教育庁三内丸山遺跡センター)	遺跡周遊スタンプラリー参加組数 延べ7,832組 登録1周年記念事業(さんまる世界遺産ウィーク)の来館者数 20,415人 縄文“体感”世界遺産講座の開催回数及び受講者数 12回、768人 世界遺産ガイド養成講座の開催回数及び受講者数 7回、168人 西日本プロモーション(福岡県での出土品展示等)認知度向上のための広告・誘客促進グッズの制作 活用推進ビジョン関係者会議の開催	50,803

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
「青森の縄文遺跡群」情報発信拠点施設整備事業 (教育庁三内丸山遺跡センター)	県内構成資産への来訪・周遊を促進する情報発信拠点施設の整備に係る設計を実施	28,834

IV-3-② 文化芸術に親しむ環境づくりと人づくり

施策関係課 環境生活部県民生活文化課
観光国際戦略局県立美術館

◎施策の説明

文化芸術施設の魅力づくりと集客力向上に取り組む。新たな文化芸術を生み出す人財の育成、文化芸術資源の活用による地域づくりに取り組む。

◎令和4年度の実施状況と成果

県内での美術館の知名度向上と利用促進を目的とし、県立美術館の建物やデザイン、コレクションの魅力をもつ展示を三沢市歴史民俗資料館で行うとともに、県南地域（三沢市、六ヶ所村、新郷村）の会場で現代アートの面白さを紹介するアートプロジェクトを行う「美術館堆肥化計画2022」を展開し、県立美術館「コレクション展2022-4」内で成果展示を行った。

「アレコ」舞台背景画4作品及びアレコホールをPRするため、公募により選考された県民によるミュージアムコンサートをアレコホールで開催した。

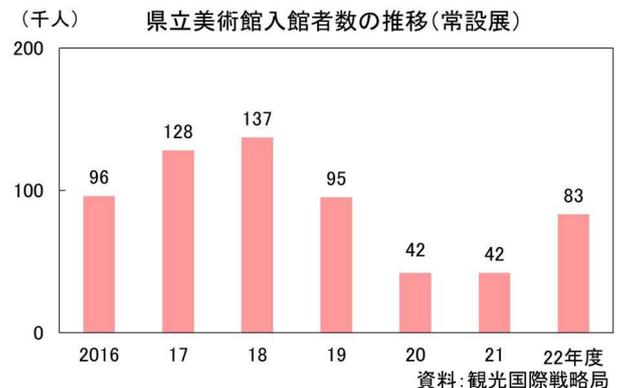
また、アレコホールに5台のグランドピアノを設置し、5人のピアニストが同時に演奏する5台ピアノコンサートを開催し、プログラムの一つとしてプロと県内中高生と一緒に演奏する特別企画を実施した。

芸術文化の発表・鑑賞の機会を提供するため、上十三地域を主たる会場とした青森県民文化祭を開催するとともに青森県美術展覧会開催を支援した。

将来世代が芸術や地域文化に触れる機会を提供するため、東京藝術大学と連携して、「縄文文化」をテーマとした「文化芸術体験・学習プログラム」による学校への出前教室を実施した。

ファッションを通じた人材育成、産業振興及び地域活性化を図るため、第21回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会（ファッション甲子園）の開催を支援した。

◎関連する指標の動向等



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
青森県美術展覧会開催事業費補助 (環境生活部県民生活文化課)	応募作品数 414点	1,800
青森県民文化祭開催事業 (環境生活部県民生活文化課)	分野別参加団体数 14団体	8,788
高校生ファッションチャレンジ事業 (環境生活部県民生活文化課)	最終審査会参加チーム数 33チーム 来場者数 300人 ライブ配信視聴数 5,000回	11,051
あおもり文化みらいびと育成事業 (環境生活部県民生活文化課)	学校への出前教室実施校数 7校 ワークショップの開催箇所数 6箇所	5,529
青森県立美術館企画展等開催事業 (観光国際戦略局県立美術館)	石井康治展、ミナ ペルホネン／皆川明 つづく展の開催	45,989
アレコホール活用によるファン獲得事業 (観光国際戦略局県立美術館)	アレコホール特別演奏会 5 台ピアノコンサート 観客数 257人 ライブ配信販売券数及び視聴数 77枚、延べ279回 公演への県内中高生出演者数 5人 ミュージアムコンサート 一般(演奏組数) 10組 学生(演奏者数) 20人	6,228
みんなでつながる青森アート事業 (観光国際戦略局県立美術館)	三沢市でのPR展示鑑賞者数 142人 県南地域(三沢市、六ヶ所村、新郷村)でのアートプロジェクトやオンライン勉強会の体験者数 2,326人 県立美術館での成果展示鑑賞者数 13,846人	15,387

IV-3-③ 健康でスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

施策関係課 県土整備部都市計画課
国スポ・障スポ局総務企画課
教育庁スポーツ健康課

◎施策の説明

県民が年間を通じてスポーツに取り組める環境を充実させるほか、全国大会などで活躍できる選手や指導者を育成し、県民の健康づくりやスポーツによる地域活性化を進める。

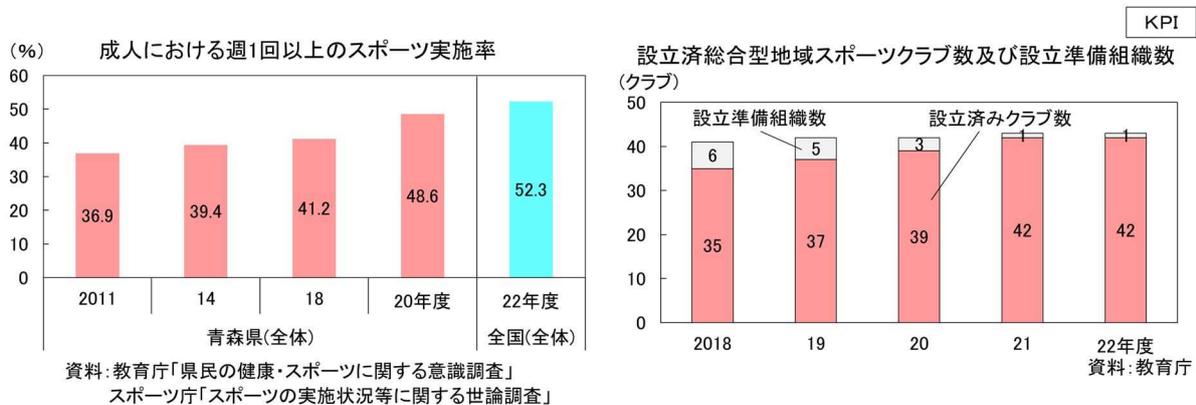
◎令和4年度の実施状況と成果

県民の生涯を通じたスポーツ活動を充実させるため、新青森県総合運動公園の整備・補修工事を実施するとともに、青森県民スポーツ・レクリエーション祭を県内各地で開催した。また、総合型地域スポーツクラブについては、未設置の町村への訪問を行い、情報提供や啓発活動などの支援に取り組んだ。

スポーツを通じた健康づくりを推進するため、総合型地域スポーツクラブと連携し、高齢者を対象とした介護予防健康教室や成人を対象としたヨガ・ストレッチ教室等を開催するなど、地域の実情に応じた運動・スポーツ活動に取り組んだ。

第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）及び第25回全国障害者スポーツ大会について、令和8年の本県開催に向けた準備を着実に進めるとともに、競技力向上を図るため、国内トップレベルの指導者の招へいによる指導者の養成及び資質向上、ジュニア選手の発掘・育成、選手強化事業への支援などに取り組んだ。

◎関連する指標の動向等



◎令和4年度の主要事業の実績

(単位: 千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
新青森県総合運動公園整備事業 (県土整備部都市計画課)	新水泳場等整備一式 埋蔵文化財調査、アリーナ設備等改修一式	2,006,850
第80回国民スポーツ大会開催 準備事業 (国スポ・障スポ局総務企画課)	総会、常任委員会、各専門委員会（総務企画、競技運営、施設、広報・県民運動、宿泊、医事・衛生、警備・消防、水泳（飛込）競技運営、馬術競技運営）の開催 会場地市町村の選定等 競技役員等養成の補助 青の煌めきダンス出前教室開催回数 8回	115,962
スポーツ・レクリエーション 振興事業 (教育庁スポーツ健康課)	第15回青森県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数（35種目） 4,132人	7,539
広域スポーツセンター運営事業 (教育庁スポーツ健康課)	設立済総合型地域スポーツクラブ数 42クラブ	1,955

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
「スポーツでみんなを元気に」 健康力アップ事業 (教育庁スポーツ健康課)	ワークショップ開催回数 1回 モデルクラブ(6クラブ)による実践 検討協議会開催回数 延べ11回 実践回数 延べ82回	3,096
競技力向上関連事業 (教育庁スポーツ健康課)		246,873
競技力向上事業	総合選手強化事業補助対象者数：40団体、延べ3,973人 中学生強化事業補助対象者数：23団体、延べ1,282人 高校生強化事業補助対象者数：50団体、延べ1,460人	98,090
競技力向上対策特別事業	スーパーバイザー配置数 25団体、34人 あおもりスポーツアカデミー事業参加者数 小学生(キッズ) 84人 中学生(ジュニア) 91人 強化拠点校(クラブ)指定数 ジュニアクラブ12チーム、中学校10チーム、高校65 チーム、大学等24チーム 強化指定選手指定数 31団体、228人	143,881
スポーツ科学チームサポ ート事業	スポーツ科学専門員によるサポートチーム数 体力測定分野 6チーム 動作分析分野 6チーム リコンディショニング分野 6チーム 心理サポート分野 6チーム	4,902